



# ザンビアの経済概況・月報(2019年11月)

主なマクロ経済指標	2018年	2019年
1. 人口 (百万人)	17.6	18.1 (proj)
2. 人口増加率 (%)	2.9	2.84 (proj)
3. 失業率 (%)	41.8 (Q3)	41.8 (Q3:2018)
4. 平均寿命 (年齢)	51.4(男性)/54.7(女性) (est)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	26,720	23,636 (proj)
6. GDP成長率 (%)	3.8	2.2 (proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,430	-
8. インフレ率 (%)	7.9 (Dec)	10.8 (Nov)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	216.99 (Dec)	238.64 (Nov)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-438.39	33.52*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	109.86	85.65 *3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	9,059.36	6,084.01*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	168.3	119.88 *3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	9,497.75	6,050.50*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	58.44	38.91 *3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-342	-1,106 (est)
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-149 (2017)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,091(2017)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	1,590 (est)	1,405(Jul)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	10,050 (Dec)	10,560 (Sep)
21. 為替レート (対米ドル)	10.45ZMW	13.98ZMW (Nov)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	9.75 (Nov)	11.50 (Nov)

※( )内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 GDP at market prices (Current USD)
*2 2019年1月から10月までの貿易額。1USD=12.66ZMW(2019年10月までのザンビア中央銀行為替相場月平均を用いて換算)
*3 2019年1月から10月までの貿易額。1USD=109.9円(2019年10月までの日銀基準外国為替相場月平均を用いて換算)
<2019年10月>
主要輸出品目: 電解精錬用の銅陽極/エレクトロウオン銅陰極/粗銅/硫酸/発煙硫酸/セメント/甘蔗糖
主要貿易相手国(輸出): スイス 36.9%, 中国 22.6%, コンゴ(民) 12.9%, シンガポール 9.2%, 南アフリカ4.1%, その他 14.3%
主要輸入品目: 石油/内燃機関用燃料/軽油/硫黄/医薬品
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 33.5%, 中国 14.1%, アラブ首長国連邦 12.0%, インド 3.9%, タンザニア 3.5%, その他 33.1%
<出典>
1, 2, 5, 7, 19: EIU Country Report/4, 16: The World Factbook (CIA) /3, 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (GSO) /6, 20: Ministry of Finance/ 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計/17, 18: UNCTAD/21, 22: Bank of Zambia

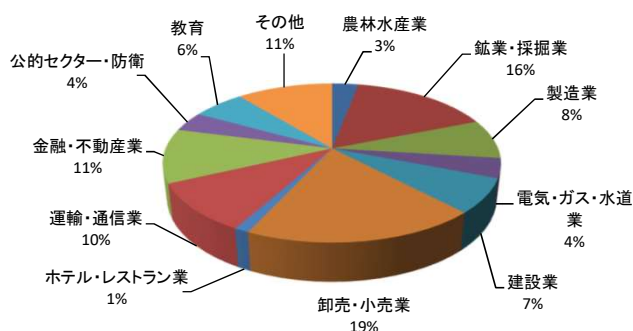
## ザンビアの税制度 ~鉱業関連~

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax): 35%。**  
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT): 16%。**
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**  
5.5-10%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**  
関税は商品(コモディティ)毎に、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax): 15%。**

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要な全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

## GDPセクター別構成(2019年第1四半期)



(出典: ザンビア中央統計局)

## 主要な経済ニュース(11月)

### 1. ザンビア電力公社, 水力発電依存を22%削減予定(Times of Zambia, 7日)

ザンビア電力公社(ZESCO)は、昨今の干ばつによる気候状況悪化を考慮して、電力供給安定化のため、同国の水力発電への依存度を現在の84%から2020年までに約62%に削減するプロジェクトを計画している。

### 2. アフリカ開発銀行, 経済多角化に7億ドルを投資(Daily Nation, 11日)

アフリカ開発銀行(African Development Bank)は、民間セクターを通じた経済の多角化に7億ドルを投資することを決定。同投資は、農業、エネルギー、鉱業の3部門の支援に充てられ、経済多様化及び銅への依存度の低下を目的として運用される。

### 3. ザンビア, 電力輸入に2,700万米ドルを支払う(Daily Mail, 15日)

14日、ザンビア政府は南アフリカの電力大手エスコム(Eskom)社に1,540万米ドルを支払い、二週間前に支払った頭金1,160万米ドルと合わせて合計2,700万米ドルの支払いを完了した。ンガンドゥ財務大臣は、記者団に対し、これまでにエスコムに支払い済みの金額は1ヶ月間で電力輸入300メガワット分に相当すると説明した。

### 4. ルング大統領, 「国産製品の品質向上を」(Daily Mail, 17日)

ルング大統領は、アフリカ大陸自由貿易圏協定(AfCFTA)下において国産製品が競争力を発揮できる環境を整えるべく、民間セクターに対して、国産製品の品質向上及び付加価値への投資を要請。また、同大統領は、国産商品の市場アクセス向上のため、民間及び公的製造企業に対し、製品の質の向上、インフラ強化、組織構造への投資を呼びかけた。

### 5. 世界銀行, 「衛生設備欠如により2億ドルの経済損失」(Times of Zambia, 20日)

世界銀行のセステリ(Anna Cesteri)水資源管理専門家は、ザンビアでは衛生設備の欠如に起因する疾病により、毎年、約2億米ドルの生産コスト利用機会が失われていると述べた。同専門家によると、上記の生産性損失は経済機会の損失を意味しており、持続可能な開発目標の達成のためには衛生分野への投資が必要と言及。

### 6. ザンビア中央銀行, インフレ対処のため政策金利を修正(Times of Zambia, 21日)

ザンビア中央銀行(BoZ)は、インフレ率を政府目標の一桁台に回復させマクロ経済の安定化を図るため、政策金利を10.5%から11.5%へと引き上げた。一方、BoZのカリヤリヤ(Denny Kalyalya)総裁は、電力不足によりジェネレーター使用に拍車がかかり化石燃料需要が増加、結果として燃料輸入量が増加したことでクワチャに圧力が掛かっていると述べた。

### 7. ザンビア原子力庁, 「エネルギー不足により経済規模が10億米ドル縮小」(Times of Zambia, 25日)

ザンビア原子力庁(ZAMTOM: Zambia Atomic Energy Agency)は、ザンビア国内における局所的停電は、製造業の抑制及び電力輸入を誘発、同国経済を10億米ドル規模で縮小させると予測。同庁のムシスカ(Roland Msiska)長官は、国家が直面するエネルギー問題に持続的な解決策をもたらすために世代を越えた考え方が必要になると述べた。

### 8. アーンスト・アンド・ヤング社, 「鉱山業界の苦境を注視」(Daily Mail, 29日)

アーンスト・アンド・ヤング社(EY: Ernst & Young)は、ザンビアの鉱山業界にとって、法規制面における不確実性の高まりが最大の脅威であると分析。同社のマワイレ(Patrick Mawire)ザンビア代表は、鉱山業界の政策上及び税制上の矛盾が、投資家の自信に負の影響を与えたため、同業界の成長を阻害し必要経費を増加させたと言及。